

Q&A—皆様から頂いたご質問やお問合せについて

本項は、今回の立川店において一部の猫が猫パルボウイルスに感染した事態を受けて、皆様から頂いたご質問やご批判、お問合せに対して分かりやすくご説明するものです。

(2018.8.22 公開)

Q1：猫パルボウイルスとはどのような病気ですか？

猫パルボウイルスは、人には感染しませんが、猫に感染すると、発熱・吐き気・食欲減退・嘔吐・下痢・血便などの症状がみられる猫の病気です。1歳未満の、免疫が不安定な子猫に感染・発症しやすく、発症すると90%近い確率で亡くなる危険な猫の病気です。

この度、7匹の大切な猫たちが亡くなってしまったという悲しい事態が生じてしまいました。これまで感染予防には万全を期していたつもりでしたが、感染を防ぎ切ることができず、申し訳ない思いで一杯です。2匹の感染が発覚した時点で営業を即時停止せず、洗浄を徹底すること等で防げると判断したことはミスであったと深く反省しております。全スタッフ一同、心より、亡くなった猫たちに対し、哀悼の意を表します。今後は、この猫たちのためにも、安全対策を何よりも最優先していくことをお約束します。

Q2：猫パルボウイルスはどのように感染するのですか？

嘔吐物、排泄物といった吐瀉物を介して感染します。そのため、猫パルボウイルスに感染した猫の吐瀉物に他の猫が触れることによって感染してしまいます。また、空気感染はしませんが、飛沫感染をすることはあり、人が、猫パルボウイルスに感染した猫の吐瀉物などで汚れた手を十分に洗浄しないまま、他の猫を抱くなどすると感染してしまうことがあります。

今回の感染経路についてですが、委託獣医師によると、特定は困難であるとのことです。もっとも、考え得る可能性としては、購入時の子猫が既に感染していて猫から猫へ感染したケースのほか、人に付着して持ち込まれたウイルスから感染したケースが考えられるとのことです。当社は、その二つの可能性を塞ぐために、徹底した対策を採っております。対策の詳細は、こちら(http://catmocha.jp/data/info_20180814.pdf)の3頁以下をご覧ください。

Q3：猫パルボウイルスは、猫以外には感染しないのですか？

はい、猫パルボウイルスは人間には感染しませんし（人間を介して猫に感染してしまうことはあります。Q2をご参照下さい。）、猫以外の動物に感染することもある

りません。「パルボウイルス」には、犬パルボウイルスなど、猫以外の動物が感染する種類のものもありますが、これらは全く異なるウイルスであり、違う動物間でパルボウイルスが感染することはありません（猫が犬にパルボウイルスを感染させる、ということはありません。）。

Q4：猫パルボウイルス感染を防ぐためにはどのような対策がありますか？

World Small Animal Veterinary Association（WSAVA）という国際機関が公表しているワクチンプログラム（詳細は https://www.wsava.org/WSAVA/media/PDF_old/WSAVA-vaccination-guidelines-2015-Japanese.pdf をご参照ください。）のとおりワクチンを接種することが何よりの対策とされています。もっとも、ワクチンを接種しても、感染を100%防ぎ切ることができるものではないのが現実です。また、猫パルボウイルスにはビルコンなどの塩素系消毒薬が効果的であり、猫カフェなど多数の猫が集まる場所では、それらによる消毒を行うことも感染対策として重要です。さらに、吐瀉物に触れた人間を介して感染する場合もあることから、猫に触る前に、手指等の消毒を徹底することも対策となります。当社も、徹底した安全対策を実施していくことをお約束します。その詳細は、こちら（http://catmocha.jp/data/info_20180814.pdf）の3頁以下をご覧ください。

Q5：猫カフェ MOCHA では、ワクチン接種をきちんと行っていたのですか？

はい、全猫に対し、生後2～4か月以内に、2回のワクチンを接種しており、成猫に対しても、毎年1回のワクチン接種を行ってまいりました。生後2～4か月以内に2回のワクチン接種を行うというのが、一般的なパルボウイルス対策とされております（委託獣医師からも同様の見解を得ています。）。

なお、今回の件を受け、今後は、より徹底した対策として、World Small Animal Veterinary Association（WSAVA）のガイドラインに沿ったワクチン接種を行います。

Q6：猫カフェ MOCHA では病気の猫を病院に連れて行かないなど、猫に対して虐待をしているという噂を聞きましたが、本当ですか？

そのような事実は一切ございません。猫カフェ MOCHA では、体調に異変のある猫は委託獣医師に診察してもらい、治療が必要と診断された猫については、病院での治療を行っております。また、委託獣医師による定期的な健康診断も行っており、この結果、治療が必要と診断された猫についても同様です。それ以外にも、猫カフェ MOCHA の全スタッフは、猫への愛情では誰にも負けない自信を持っており、虐待などの事実は断じてあり得ません。

Q7：立川店以外の店舗の徹底洗浄・消毒はなぜ行わなかったのですか？

立川店以外の店舗につきましては、感染は報告されず、具体的な危険は認められませんでした。万全を期するために臨時休業として、全猫に対しパルボウイルス検査を行ってまいりました。検査の結果、全猫につき陰性の結果が出ましたので、通常の清掃（消毒作業を含みます。）と別に、専門業者による徹底洗浄・消毒までは不要であると判断しております。どうぞご安心ください。

Q8：猫カフェ MOCHA の店舗間で猫を移動させた事実はないのですか？

猫によっては、店舗の環境になじまない猫もいますので、そのような場合により適した環境を探して他店舗に移動させることはあります。また、新しい店舗を開店する際などに、一時的に店舗間で猫を移動させることも、稀にですがございます。そのような場合は、環境の変化による猫へのストレスに最大限の配慮を行っております。

なお、これまでお知らせのとおり、立川店の猫を他店舗に移動させたことはございませんが、他店舗から、3匹の成猫を立川店に移動させたことはございます。なお、移動させた3匹は、検査の結果、猫パルボウイルスに感染していないことが確認できたため、今後、元の店舗に復帰させてまいります。

今後も、やむを得ず店舗間で猫を移動する場合には、環境変化による猫のストレスに最大限の配慮をしてまいります。

Q9：8月2日に公表された「お詫びと関東全店舗臨時休業のお知らせ」では、東京都動物愛護相談センターについての記載がありましたが、その後、該当箇所が削除されているのはなぜですか？

当社は、8月2日に公表した当初のリリースに記載しましたとおり、東京都動物愛護相談センターに、対応についてのご相談をさせていただきました。全頭検査や全面消毒などの対策は、同センターからのご指導も踏まえて実施したものです。もっとも、同センターは、猫カフェ等の安全について保証をする機関ではないことから、誤解を招く表現を削除してほしいとの要請を、同センターよりいただきました。そのため、8月10日、該当箇所を削除することといたしました。皆様には混乱を生じさせてしまい、お詫び申し上げます。

Q10：飼い猫の被害の補償について教えてください。

最近立川店にご来店いただいたお客様の飼われている猫が猫パルボウイルスに感染していた場合には、当社が責任をもって治療費を負担させていただきます。お問合せ先メールアドレス (tachikawa_info@k-xp.com) までご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、本日現在まで、お客様の猫への猫パルボウイルス感染のご報告例はございません。

Q11：今後は猫パルボウイルス対策を徹底していくということですが、これまではきちんとした対策を行っていなかったということですか？

これまで当社では、ワクチンの接種、消毒液の散布、来店するお客様の手指の消毒、獣医師による回診など、一般的に行われているパルボウイルス対策は全て実施しておりました。それでも今回の事態が起きてしまい、猫パルボウイルスの感染力の強さを痛感しております。この反省から、今後は、業界水準以上の徹底した対策を講じてまいります。今後のパルボウイルス対策についての詳細は、こちら (http://catmocha.jp/data/info_20180814.pdf) の3頁以下をご覧ください。

【本件についてのお問合せ先】

電話 03-6441-2771 (担当：永瀬) / e-mail tachikawa_info@k-xp.com